

Energy efficiency NEWS FLASH

(作成: SEAJ エネルギー効率利用専門委員会 独自の見解を含んでおり、内容を保証するものではありません。参考情報としてご利用下さい)

1) 件名

工場に於けるエネルギーのシミュレーションの現状について

2) 内容

工場に於けるエネルギーのシミュレーションの現状について紹介されたので此処に記す。

A) 工場設備の3次元 CAD 中で、エネルギー情報を取り込み収支をシミュレートする事が行われている。

『CRYSTAL 5D』

3D 設計に装置、配管、熱源等のデータを入力してエネルギーのシミュレーション等が可能なシステムソフトウェア。3D+2D (Real Time・・・)

tsmc、samsung 等が導入。(3D:Geometry 4D:Real Time 5D:xxIntelligence)

⇒ 詳細調査が必要。以前からスタンダード化の要否について当専門委員会で検討してきた、『装置動作に於けるエネルギー収支の共通な記述方法』の情報があるとデータ入力が容易となると共に、正確なシミュレーション結果が出せるようになると思われる。

⇒ 『装置動作に於けるエネルギー収支の共通な記述方法』のスタンダード化の検討を継続する。

B) 建設業界では CRYSTAL 5D と同様のコンセプトである“BIM Building Information Model”が実用化され始めている。3次元 CD とデータをリンクする。窓ガラス(メーカー、製品番号)のデータが入っている設計図のようなイメージ。空間を決めると、どのぐらいのエアコンが必要か自動的に算出される。

3) SEAJコメント

工場に於けるエネルギーのシミュレーションに於いては、個々の半導体製造装置のエネルギー収支状態を知る事が不可欠であり、以前より当委員会でも、このエネルギー収支の記述方法について、スタンダード化の必要性が議論されてきているので、これについての調査、検討を継続する。

4) 添付情報・資料

特に無し

5) 関連情報

特に無し

6) その他

特に無し

— 以上 —